

■ 平成 29 年度事業概要 ■

I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等）	920 点
寄贈資料受入れ総数（同上）	3,285 点
	4,205 点
整理・保存	収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等
閲 覧	利用者 延 4,880 人

II 展覧会事業

(1) 展覧会開催事業

事 業 名	実施時期 (日数)	観客数 (人)	展 覧 会 の 概 要
常設展 北海道の文学	通年 (308 日間)	7,545	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料 1,350 点を紹介。 (◎展示構成を次頁に掲載。)
特別展 ふみくらの奥をのぞけば —文学館・珠玉の 300 選	4/22(土) ～ 6/18(日) (50 日間)	2,322	「北海道文学館」が道内外の多くの人々に支えられて産声をあげたのが 1967 年。以来、北海道関連の文学資料を中心に収集を続けて 50 年を迎えた。経済活動優先の時流に抗して、風化・散逸を潔しとせず、文学館の「ふみくら」(文庫・収蔵庫)で保存に努めてきた〈宝物〉は 30 万点を超えている。本展では、その中から自筆原稿や色紙、貴重本など 300 点を選びすぎり、北の大地の文学の魅力にふれていただく。
特別展 「北方文芸」と道内文学 同人誌の光芒	7/ 1(土) ～ 8/27(日) (50 日間)	1,721	北の大地に芽生えた文学運動をより確かなものにするため誕生したのが雑誌「北方文芸」である。〈日本のなかの北海道・北海道のなかの日本を照射し表現する文学運動の拠点たらねばならぬ〉との熱い出発宣言のもと、1968 年 1 月創刊号から約 30 年間、350 号で休刊に至るまで意欲的な特集を編み、多くの才能ある書き手を送り出した。一方、総合誌化する同誌に対抗して、問題意識にあふれた同人誌も相次いで誕生し、道内文学は百花繚乱の活況を呈した。本展では北海道における文学運動の「青春」とでも言うべき「北方文芸」とその時代にスポットを当て紹介する。
特別展 《サハリン島》2017 —アントン・チェーホフの遺産	9/ 9(土) ～ 11/19(日) (62 日間)	2,848	ロシアの作家チェーホフは、1890 年単身サハリン島を訪れこの極東の流刑地の調査をもとに、歴史的〈遺産〉として世界中で読み継がれている『サハリン島』を書き上げた。本展では、チェーホフの『サハリン島』を中心に、サハリンに足跡を残した北原白秋や宮沢賢治らの日本語文学、ニプフなど先住民族の民俗文化、現代の若手芸術家の活動の紹介を通して、この地に息づくチェーホフ的精神の遺産について考える。
ファミリー文学館 絵本の動物園へようこそ	12/ 2(土) ～ 1/21(日) (39 日間)	2,157	中島公園に動物園が出現！、絵本の中のどうぶつたちが大集合と題し、ゾウやゴリラ、キリン、シロクマなどが描かれている絵本の動物園を開催。おはなしのなかのどうぶつたちと触れあってもらうとともに、親子で楽しめる絵本コーナーや簡単手作りコーナーを設置。
特別展 有島武郎と未完の『星座』	2/ 3(土) ～ 3/25(日) (44 日間)	1,763	「カインの末裔」「生れ出づる悩み」などで明治・大正の北海道に生きる人間を鮮明に描き出した作家・有島武郎(1878～1923 年)。狩太(現・ニセコ)での「農場解放」をはじめ、「遠友夜学校」、北大美術部「黒百合会」での活動など、その功績は文学だけに止まらない。本展ではその足跡を辿るとともに、自身の札幌農学校(現・北海道大学)時代をモデルにした未完の小説「星座」に焦点をあて、様々な個性を持つ若者たちが、自然とお互いを活かし、助け合う青春群像の描写に、有島が何を託したのかを読み取り、分断や衝突の問題に揺れる現代社会を考えるヒントを探る。

【文学館アーカイヴ（新着資料）コーナー】

- 第1期展示〔4月18日(火)～6月11日(日)〕
戦後北海道の出版文化（前期）
北海道出版ブーム期（1945～49年）に北海道で刊行された書物を紹介。
- 第2期展示〔6月27日(火)～8月13日(日)〕
戦後北海道の出版文化（後期）
北海道出版ブーム期に刊行された書物の中から子ども向けのものを紹介。
- 第3期展示〔8月29日(火)～11月12日(日)〕
文学ノーザンアイランドの旅
特別展に因み樺太・千島など北方の島々を描いた文学作品を紹介。
- 第4期展示〔11月21日(火)～1月14日(日)〕
2017年の主な受賞とトピックス
北海道ゆかりの受賞者たちと受賞した作品を紹介。
- 第5期展示〔1月30日(火)～3月18日(日)〕
大正ロマンのイメージ
大正期の芸術のロマン主義的な特質を文学作品や装丁などにより紹介。

(2) 常設展の展示構成

〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎「札幌農学校」 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文化的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海道文学」（原田康子「挽歌」掲載）、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊（三浦光世筆） ◆変転する現代 高橋揆一郎「『伸予』覚え書き」自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河邨文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙

〈北海道の短歌〉〔内田弘〕

◆北海道歌壇の動き 小田観螢、並木凡平、酒井廣治、山下秀之助、伊東音次郎 ◆北海道歌人会 その主な活動 ◆歌人達の揮毫 野原水嶺、芥子澤新之介、小田観螢、宮西頼母、川村濤人、樋口賢治 ◆北海道を詠む 石川啄木、太田水穂、若山牧水、土屋文明、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤茂吉、佐藤佐太郎、橋本徳寿、宮柊二、太田青丘、齋藤史、清原日出夫

〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島勝六、高浜虚子、長谷川零餘子、臼田亜浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 齋藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆俳句の現代 鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈アイヌの口承文芸〉〔青柳文吉〕

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治～昭和初期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和後期～平成7年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介

〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担事業。※印は財団企画事業。

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者実績数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	観覧(参加)率(%)	備考
講演会・セミナー・講話等	オープニングセレモニー	4/22(土)		18		「ふみくら展」関連事業
〃	記念講演会「北海道文学の発音とともに」 講師：木原直彦（北海道文学館名誉館長）	4/22(土)	80	64	80.0%	〃
〃	ギャラリーツアー 講師：当館学芸員	5/6(土)、5/20(土)、 6/3(土)、6/17(土)		22		〃
〃	文芸ライブ「レクイエム J. K-65年後の『阿寒に果つ』」 講師：暮尾淳（詩人）、荒巻義雄（SF作家）	5/6(土)		103		〃
〃	対談「札幌で書く小説とノンフィクション」2人の気鋭作家が語る 講師：乾ルカ（作家）、谷口雅春（ライター）	5/21(日)		71		〃
〃	朗読と音楽の会 講師：朗読ユニット華音	6/4(日)		92		〃
〃	ワークショップ「アンティーク風の豆本づくり」 講師：関川敦子（版画家・豆本作家）	6/3(土)		10		〃
〃	ワークショップ「文庫本ノートのハードカバー手製本をつくる」 講師：田原洋朗（田原書店店主・手製本作家）	6/18(日)		10		〃
〃	文芸講演会「『北方文芸』とは何であったか」 講師：鶴田小彌太（元「北方文芸」編集人、元札幌大学教授）	7/2(日)	80	54	67.5%	「北方文芸展」関連事業
〃	ギャラリーツアー 講師：当館学芸員	7/2(日)、7/16(日)、 7/30(日)、8/13(日)、 8/27(日)		16		〃
〃	ビブリオバトル「書評合戦ゲーム！～北で生まれた名作たち」 協力：さっぽろビブル	7/23(日)、8/6(日)		54		〃
〃	記念講演会「『出刃』受賞のころ一文芸誌・同人誌と北海道の作家たち」 講師：小樽山博（小説家）	8/11(金)	80	96	120.0%	〃
〃	中島公園 2017 同人誌まつり LIVE EVENT 「蘇る青春ソング～岡林、陽水、拓郎を唄おう」 出演：も～り～	7/7(金)		20		〃
〃	中島公園 2017 同人誌まつり 朗読会 「中島公園を描く作品を読む」 出演：声の贈り物～月夜見の会	7/7(金)		38		〃

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	観覧(参加)率(%)	備考
講演会・セミナー・講話等	中島公園 2017 同人誌まつり 「公園の達人と巡る中島公園 33 の宝物」 講師：笠康三郎	7/ 7(金)		13		「北方文芸展」 関連事業
〃	中島公園 2017 同人誌まつり 「ワークショップ うちわを作ろう！」 講師：当館職員	7/ 8(土)		12		〃
〃	中島公園 2017 同人誌まつり 「親子で楽しむ読み聞かせ」 朗読：読み聞かせボランティア「トムテ」	7/ 8(土)		1		〃
〃	中島公園 2017 同人誌まつり 「クイズに挑戦！中島公園文学散歩」 講師：当館学芸員	7/ 8(土)		4		〃
〃	中島公園 2017 同人誌まつり LIVE EVENT 「ピアノとアコーディオンで奏でる青春の光芒」 出演：WHOOPS	7/ 9(日)		28		〃
〃	中島公園 2017 同人誌まつり TALK EVENT 「同人誌の現在、書くことの未来」 出演：田中和夫、妹尾雄太郎、寺田文恵、河崎秋子	7/ 9(日)		38		〃
〃	オープニングセレモニー	9/ 9(土)		40		「サハリン島展」 関連事業
〃	オープニング・ギャラリートーク 講師：当館学芸員	9/ 9(土)		50		〃
〃	ギャラリートーク 講師：当館学芸員	10/21(土)、10/29(日)、 11/4(土)		25		〃
〃	文芸講演会 I 「サハリンという場所—チェーホフの 見たもの、そして現在」 講師：外岡秀俊(ジャーナリスト、作家)	9/ 9(土)	80	73	91.3%	〃
〃	朗読と演奏「海をわたる弦の響き～音楽と朗読で結 ぶサハリンと北海道～」 朗読：工藤正廣、演奏：デュオ・セント+1	9/28(木)		62		〃
〃	文芸講演会 II 「『シベリアから』と『サハリン島』を 筆写して」 講師：工藤正廣(当財団理事長)	10/ 1(日)	60	51	85.0%	〃
〃	トークセッション I 「チェーホフのサハリン島をめ ぐる」 講師：E. フィルソヴァ(サハリン島文学記念館館長)、 A. ステパネンコ(同啓蒙部門主幹)	10/ 8(日)	80	109	136.3%	〃
〃	トークセッション II 「文学を生み出す場としてのサ ハリン」 講師：E. イコンニコヴァ(サハリン国立大学教授)、 E. バチニナ(郷土文学研究家)、窪田尚(詩人、 絵本作家)、斉藤征義(詩人)、蜂飼耳(詩人)	10/ 9(月)	80	103	128.8%	〃
〃	トークセッション III 「チェーホフの『サハリン島』 をめぐる話」 講師：沼野充義(東京大学大学院教授)、 池澤夏樹(作家、当館館長)	10/22(日)		111		〃
〃	異文化セミナー「サハリンのくらしと北海道」 講師：中谷アナスタシア(元通訳者)	10/28(土)		31		〃
〃	トークセッション IV 「[サハリン×北海道] 現代絵画 について語り合う」 講師：L. アサビナ(美術家)、谷地元麗子(日本画家)	11/ 5(日)		31		〃
〃	「魅惑のマンドリン&ギターのしらべ～懐かしいロ シアの歌から」 演奏：トロア・クプルス、佐藤洋一	11/12(日)		86		〃
〃	「大人のためのサハリン昔語り」 出演：札幌おはなしの会	11/12(日)		36		〃
〃	文芸講演会 III 「サハリン発、チェーホフさんこんに ちは」 講師：児島宏子(ロシア語通訳、翻訳家)	11/15(水)		45		〃
〃	講演会「あべさんに教えてもらおう、動物のこと」 講師：あべ弘士(絵本作家)、 演奏：明楽みゆき(ピアニスト)	1/14(日)		89		ファミリー文学 館関連事業
〃	ワークショップ「どうぶつずろくをつくろう」 講師：当館職員	12/17(日)		25		〃
〃	ワークショップ「バタバタアニマルをつくろう」 講師：堀川真(絵本作家)	1/11(木)		29		〃
〃	どうぶつ絵本読み聞かせ 出演：当館職員	12/24(日)、1/21(日)		17		〃
〃	オープニングセレモニー・オープニングギャラリー トーク	2/ 3(土)		40		「有島展」 関連事業
〃	オープニング文芸講演会「有島武郎と出版—新潮社 からの新発見資料・原稿『星座』にふれて」 講師：中島国彦(日本近代文学館専務理事)	2/ 3(土)	80	61	76.3%	〃

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	観覧(参加)率(%)	備考
講演会・セミナー・講話等	朗読会「高校生が読む有島武郎の名作」 朗読：札幌旭丘・札幌静修・札幌日本大学高等学校放送局	2/4(日)、3/17(土)		90		「有島展」関連事業
〃	読書会「有島武郎を読む」 講師：工藤正廣(当財団理事長)、久保田知恵子(藤女子大学非常勤講師)、当館学芸員	2/6(火)、3/6(火)、3/14(水)		45		〃
〃	講座「有島武郎を知る」 講師：中澤千磨夫(北海道武蔵女子短期大学教授)、柴橋伴夫(詩人、美術評論家)、岡部卓(木田金次郎美術館学芸員)、当館副館長	2/9(金)、2/27(火)、3/13(火)、3/20(火)		138		〃
〃	文芸講演会「〈学問〉する青年と女性たち—有島武郎『星座』精読—」 講師：中村三春(北海道大学大学院教授)	2/10(土)		46		〃
〃	森雅之ミニ映画祭	2/16(金)、3/2(金)、3/9(金)		80		〃
〃	対談「有島武郎と北大恵迪寮」 講師：神谷忠孝(当財団顧問、北海道大学名誉教授)、藤田正一(北海道大学名誉教授)	2/18(日)		55		〃
〃	有島武郎でビブリオバトル 協力：札幌ビブル	2/25(日)		20		〃
〃	私劇「カインの末裔に寄す」 出演：柴田智之(身体表現)	3/ 4(日)		85		〃
〃	北海道開拓の村・有島ゆかりのスポットをめぐるミニツアー 講師：前川公美夫(当財団理事)	3/11(日)		19		〃
〃	対論「北海道文学の可能性」 講師：岡和田晃(文芸評論家)、川村湊(文芸評論家)	1/13(土)		45		〃
夏休み文学道場	「中・高生のための創作講座」	7/26(水)～7/28(金)	30	11	36.7%	
小・中・高生短歌コンテスト	小・中・高生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、当館ロビーに作品展示	募集 7/1(土)～9/10(日) 展示 12/2(土)～1/21(日)	3,300	4,775	144.7%	
〃	小・中・高生短歌コンテスト表彰式	12/ 2(土)		59		
ファミリー文学館	親子手作りコーナー「ゆるゆるアニマルをつくろう！」	12/2(土)～1/21(日)	2,000	598	29.9%	
映画鑑賞会	「潮騒」	5/28(日)	60	63	105.0%	
映画鑑賞会	「北国の街」	7/16(日)	60	53	88.3%	
映画鑑賞会	「丹下左膳 百万両の壺」	11/26(日)	60	27	45.0%	
映画鑑賞会	「白痴」	2/11(日)	60	67	111.7%	
市町村連携事業「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	17 市町村 20 会場	1,200	1,768	147.3%	
市町村連携事業「ミニ巡回展」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	2 市町村 2 会場	1,000	2,167	216.7%	
文字・活字文化の振興事業	「北海道文学館公開歌会・句会」 出演：〈パネリスト〉内田弘、田湯岬、岡崎守、〈実作者〉短歌、俳句、川柳各2名	10/29(日)	60	79	131.7%	
古典の日記念朗読会	朗読：安藤千鶴子(音声表現講師、元HBCアナウンサー)、保坂和加枝(朗読ボランティア)	11/ 3(金)	60	79	131.7%	
月例朗読会	朗読：ドラマチックリーディンググループさ・く・らほか5団体	年10回	600	603	100.5%	
わくわくこどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加	15回開催	700	532	76.0%	
ロビーコンサート	「日本の伝統音楽の夕べ」、「歌と古楽器によるバロック名曲の夕べ」	11/6(月)、11/7(火)	120	113	94.2%	
文化施設連携事業	「カルチャーナイト2017」 展示室の夜間開館等を実施	7/21(金)	300	219	73.0%	
文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年(308日間)		4,880		
文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用(貸館)	通年(308日間)		1,213		
負担金事業計			10,230	19,807	193.6%	
※ 講演会・セミナー・講話等	池澤夏樹連続講演(第15回)	5/12(金)		91		
※ 講演会・セミナー・講話等	日仏交流の夕べ「オリエンタルピアノ LE PIANO ORIENTAL」を語る 講師：ゼイナ・アピラシエド、池澤夏樹	11/ 1(水)		81		
※ 文学館カレッジ	サハリン島、吉村昭・津村節子、児童文学、生涯読書会、川柳講座の5講座	5～3月	600	457	76.2%	
※ 文学館まつり	講演会、朗読会、親子手作りコーナー、秋のミニ色紙づくりなど	9/23(土)	300	356	118.7%	
※ 文化公演の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	600	749	124.8%	
※ 小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年(308日間)	100	91	91.0%	
自主企画事業計			1,600	1,825	114.1%	
教育普及事業参加者 計			11,830	21,632	182.9%	

IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 特別展「ふみくらの奥をのぞけば—文学館・珠玉の300選」関連資料調査
- ② 特別展「『北方文芸』と道内同人誌の光芒」関連資料調査
- ③ 特別展「『サハリン島』2017—アントン・チェーホフの遺産」関連資料調査
- ④ ファミリー文館「絵本の動物園へようこそ」関連資料調査
- ⑤ 特別展「有島武郎と未完の『星座』」関連資料調査
- ⑥ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑦ 次年度の特別展「没後50年 子母澤寛 無頼三代 蝦夷の夢」関連資料調査
- ⑧ 次年度の特別展「戦没画学生慰霊美術館「無言館」展」関連資料調査
- ⑨ 次年度の特別展「極の誘ひ 詩人吉田一穂展—あゝ麗しの距離、」関連資料調査
- ⑩ 次年度のファミリー文学館関連資料調査
- ⑪ 次年度の特別展「北海道の俳句～どこから来て、どこへ行くのか～」関連資料調査

V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援並びに共催により支援した。

- ① 中川町教育委員会
斎藤茂吉記念第24回中川町短歌フェスティバル
(平成29年6月1日～10月31日 中川町)
- ② 6弦6人3様～ギターディオ・ジョイントコンサート実行委員会
6弦6人3様～ギターディオ・ジョイントコンサート
(平成29年6月24日 北海道立文学館地階ロビー)
- ③ ムジカ・アンティカ・サッポロ
古楽への誘い vol.9～バロック・トランペットの世界～
(平成29年6月25日 北海道立文学館地階ロビー)
- ④ 新緑のバロック実行委員会
新緑のバロック
(平成29年6月28日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑤ ふるさとを歌う会 in 札幌 森の時間
森の時間 JAPAN×竹あかり
(平成29年7月30日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑥ ホセ・アントニオ・エスコバルギターリサイタル実行委員会
ホセ・アントニオ・エスコバルギターリサイタル
(平成29年8月24日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑦ ギタージョイントコンサート実行委員会
角圭司・山本朝香・亀岡三典ギタージョイントコンサート
(平成29年8月26日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑧ ふるさとを歌う会 in 札幌 森の時間
森の時間 JAPAN×竹あかり
(平成29年9月2日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑨ NHK文化センター朗読教室 松井信子クラス
第19回「北海道ゆかりの文学を読む」朗読会
(平成29年10月15日 北海道立文学館講堂)
- ⑩ ロメウス弦楽四重奏団
第4回ロメウス弦楽四重奏団コンサート
(平成29年10月20日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑪ 山口流梅桃桜会札幌
山口千壽篠笛演奏会 Vol.9

- (平成 29 年 10 月 28 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑫ 一般社団法人北海道美術館協力会
北海道美術館協力会設立 40 周年記念講演会
(平成 29 年 11 月 3 日 北海道立近代美術館)
- ⑬ 札幌大学熊谷ユリヤ研究室
カズオ イシグロの世界 朗読とハーブ
(平成 29 年 12 月 5 日 札幌時計台ホール)
- ⑭ 宮下祥子ギター教室
SAPPORO WING CONCERT Vol.2
(平成 29 年 11 月 4 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑮ ダヴィデ・ジョヴァンニ・トシマギターリサイタル実行委員会
ダヴィデ・ジョヴァンニ・トシマギターリサイタル
(平成 29 年 11 月 23 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑯ ふらっとお楽しみこんさーと実行委員会
ふらっとお楽しみこんさーと
(平成 29 年 12 月 9 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑰ ジュディカエル・ペロワ ギターリサイタル実行委員会
ジュディカエル・ペロワ ギターリサイタル
(平成 30 年 2 月 22 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑱ ふるさとを歌う会 in 札幌 森の時間
震災復興チャリティーイベント「森の時間 SNOW HOKKAIDO TAKEAKARI」
(平成 30 年 3 月 11 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑲ 札幌大学熊谷ユリヤ研究室
東日本大震災 7 周年朗読とハーブ カズオイシグロ「記憶」の世界
(平成 30 年 3 月 11 日 エルプラザ札幌市男女協働参画センター)
- ⑳ ぼえむ・ライブ北の息吹実行委員会
第 1 回ぼえむ・ライブ in 豊平館
(平成 30 年 4 月 28 日 札幌市豊平館)

VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・チラシ及び講演会・セミナーチラシ等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催を PR するため、TV 及び新聞紙上で有料広告を行った。
- ② 「北海道文学館報」第 109 号（5 月 31 日付）、第 110 号（8 月 10 日付）、第 111 号（10 月 20 日付）、第 112 号（3 月 14 日付）を発行した。

VII 刊行物の刊行事業

- ① 特別展「ふみくらの奥をのぞけば—文学館・珠玉の 300 選」図録の刊行
- ② 特別展「『北方文芸』と道内同人誌の光芒」図録の刊行
- ③ 特別展「『サハリン島』2017—アントン・チェーホフの遺産」図録の発行
- ④ 特別展「有島武郎と未完の『星座』」図録の刊行
- ⑤ 「平成 28 年度年報」の刊行

VIII その他の付帯事業

- ① 博物館実習生の受入
博物館実習生—13 名（受入期間 7 月～1 月。実習期間 2 週間）